

実施結果報告書

1. 学習名称：身近にあるモノレール『ゆいレール』の魅力を調べよう					
2. テーマ：ゆいレール駅からの街歩き観光を考える小学校観光授業					
3. 実施教科：総合的な学習の時間					
4. 関連単元：世界とつながるまちづくり（4学年 社会科）					
5. 実施単元数：4時間					
6. 学年	第4学年	7. クラス数	1学級	8. 生徒数	39名
9. 実施内容					
<p>(1)寺本潔先生（玉川大学）を招き、ゆいレールと観光に係る出前授業（2時間）</p> <p>①47都道府県のなかで魅力度の高い県や理由を考えたり、ゆいレールの走る市街地を眺めて観光客が楽しむためのゆいレールをつかった「まちまーい半日プラン」をつくる。</p> <p>②授業研究会（各機関の担当者が出席） 本校教員、沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課 観光教育研究会会員、 KBC 学園（専門学校）、沖縄観光コンベンションセンター ケイオーパートナーズ（株） ホテルかりゆし（株） 沖縄ツアーリスト（株）</p> <p>(2)本校教員による実践（宮城優大教諭）（2時間） 「ゆいレール」のよさの探究</p> <p>①本校の近くにある「病院前駅」を教材に駅の状況やお客さんの様子や何のために利用しているかなどを観察しそれをもとにゆいレールのよさを話し合う。</p> <p>②これらをもとに「わかったこと」や「疑問」「感想」などをまとめる。</p>					

10. 学習のながれ：2時間連続（寺本潔教授の出前授業、宮城優大教諭の授業）

＜寺本授業 1 時間目の主な内容＞

1. 地図帳を開いて47都道府県の中で魅力度の高い都道府県はどこか予想する。（1位：北海道 2位：京都府 3：東京都 4位：沖縄県）
2. 沖縄県が上位にある理由を考える。
3. 観光客は、滞在中、どんな目的で観光するのかを考える。
4. 6つの観光資源の要点（自然、歴史、食、生活文化、イベント、施設）をヒントに、那覇市で過ごす観光客の楽しみについてグループで考える。
5. 那覇市の歓呼は何が魅力か、考える。

＜寺本授業 2 時間目の主な内容＞

1. ゆいレールの走る市街地地図を眺めて、県外からの観光客が楽しむゆいレールをつかった新しい「まちまーい半日プラン」をつくる。
2. イラストカードをグループで見合い、「名所・施設＋動詞」の組み合わせで観光客へのおススメ楽しみ方を考え、アイデアをノートにまとめる。
3. 班で自分の考えを紹介し合う。
4. 班の代表者が黒板の前に出てきて班の代表作を黒板に書き出す。

＜宮城授業 1・2 時間目の主な内容＞

1. 本校の近くにある「病院前駅」を教材に駅の状況やお客さんの様子や何のために利用しているかなどを観察しそれをもとにゆいレールのよさを話し合う。
 - ・市立病院を利用している方
 - ・仕事で通勤のために利用している方
 - ・なかには、校区外からゆいレールを利用して通学している児童生徒
 - ・環境に優しい乗り物
 - ・自家用車やオートバイなどを使わなくてすむ。
 - ・環境にやさしい ・渋滞しない ・事故がおきない ・そのほか
2. これらをもとに「わかったこと」や「疑問」「感想」などをまとめる。
 - ・渋滞しない（時間どおり行ける）
 - ・排気ガスが出ない
 - ・お年寄りや障がいのある方が楽に座れる
 - ・高いところから景色がみられる
 - ▲レールのあるところしか行けない。
 - ▲お金が出る。 など

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。